

みやしゆく

宿宮

宿宮データ

〔東海道宿村大概帳〕
〔江戸時代末期〕より

日本橋から 88里35町7間(約349.4km)
旅籠 248軒 本陣 2軒 脇本陣 1軒
宿人口 10,342人 家数 2,924軒

東海道屈指のスケール、湊の風情たどる宿場町。

“熱田神宮の門前町”であるから、神宮の最後をとって「宮(みや)」と呼ばれた宿場町。「日本武尊」ゆかりの草薙剣をご神体にも、古くから多くの参拝者を集めてきた神宮の門前町が、宿場として正式に制定されたのは慶長6年(1601)のことである。また宿宮は、中山道へ続く脇街道「佐屋路」「美濃路」への分岐点であり、桑名への渡し口、いわゆる「七里の渡し」の発着点でもあったことから、東海道随一の歓楽街として大いに賑わいをみせた。本陣二、脇本陣一、旅籠屋の数は二四八軒と、東海道各宿場の平均五五軒と比較すればいかに大規模であったか、想像に難くない。七里の渡し跡は現在「宮の渡し公園」として整備され、復元された常夜灯や鐘楼に往時の姿が目に見え、穏やかな海上を眺めつつ、弥次、喜多も「雑談にあごが外れるほど大笑いした」という、のどかな帆船の旅に思いを巡らせてみたい。



宮「熱田神事」
村人たちが馬を熱田神宮へ
引いていき奉納した神事

名所・旧跡 みどころガイド

見どころ 熱田神宮・宝物館



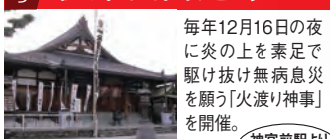
古くから「熱田さん」と呼び親しまれ、三種の神器の一つである草薙剣を祀る大宮。境内には信長塀や宝物館など見どころも多い。
●名古屋市熱田区神宮1-1-1 (熱田神宮宝物館)
☎052-671-0852 ☎9:00~16:30
(最終入館は16:10まで) 毎月最終水曜とその翌日休
●大人300円 ※企画展期間中は500円

見どころ 宮の渡し公園・七里の渡し跡



宮宿から桑名宿へと渡った航路は「七里の渡し」と呼ばれ、渡船場のあった場所は、常夜灯や時の鐘などが復元された公園となっている。
●名古屋市熱田区神戸町

見どころ あきばさんえんとうじ 秋葉山円通寺



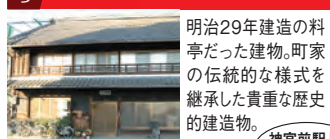
毎年12月16日の夜に炎の上を素足で駆け抜け無病息災を願う「火渡り神事」を開催。
●名古屋市熱田区神宮2-3-15
☎052-671-6987 ☎10:00~16:00

見どころ どどいつ 都々逸発祥の地



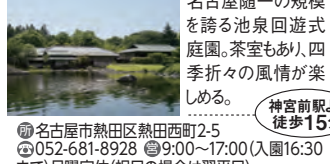
江戸時代に旅籠のお手伝いさんにより広まったとされる都々逸(どどいつ)の記念碑が立つ。
●名古屋市熱田区伝馬町2-5

見どころ 熱田荘



明治29年建造の料亭だった建物。町家の伝統的な様式を継承した貴重な歴史的建造物。
●名古屋市熱田区神戸町

見どころ 白鳥庭園



名古屋随一の規模を誇る池泉回遊式庭園。茶室もあり、四季折々の風情が楽しめる。
●名古屋市熱田区熱田西町2-5
☎052-681-8928 ☎9:00~17:00(入園16:30まで) 月曜定休(祝日の場合は翌平日)
●大人300円



語り部とゆく 白鳥庭園ガイドツアー

期間中 毎週土曜日
①10:00~12:00 ②13:30~15:30
見落としがちなポイントを開ける楽しいガイドで、白鳥庭園の魅力にふれてみませんか?
集合 白鳥庭園 (名古屋市熱田区熱田西町2-5)
参加費 入園料(大人300円/中学生以下無料)
定員 なし
受付 白鳥庭園 ☎052-681-8928
月曜以外10:00~17:00



おすすめ店 立ち寄りどころ

●野菜入り揚げかまぼこ
(大矢蒲鉾商店)

詳しくは13ページへ